

新型コロナ国内確認からちょうど1年

今日の朝刊の1面記事に「再検査、陽性『ついに来たか』』という見出しでこの記事が出ていました。

昨年今日「1月15日、東京都内の国立感染症研究所。神奈川県内の30歳代中国人男性の検体がPCR検査機器にかけられていた。・・・15日午後8時45分のことだった。」と、記事では当時のことが書かれています。

それから1年、毎朝検温したり、常にマスクを着用したり、消毒や手洗いをこまめに行ったり、ソーシャル・ディスタンスを意識して行動したり、給食はグループを組まず前だけ向いて食べたり・・・これまでの当たり前前の日常が、経験したことのない「新しい生活様式」に取って代わりました。

少しずつ慣れてきた感じがありますが、この1年を振り返るとマスクや消毒用アルコールが品切れになったり、楽しみにしていた行事や活動が中止や変更になったりと、家庭でも職場でも学校でも、いろいろな苦労やストレスがあったと思います。その間、少しずつですが、新型コロナについて科学的な研究・分析が進み、防疫上必要かつ効果的な対応策が示されるようになってきました。しかしながら、年末以降の感染拡大の背景には、気温・湿度が下がり、ウイルスには好ましい季節である冬を迎えたことでもあります。20代・30代・40代という症状が出にくい若い年代の感染者数が増えているという現状からすると、コロナへの慣れ・緩みや、自分は多分大丈夫だろうといった油断があるのかもしれませんが、まさに、それこそが緊急事態なのだと考えます。

福島市でも、感染者の増加に加え、病院でのクラスター発生により医療体制が逼迫しています。何より、一人一人が感染予防対策をしっかりと実践し「感



染を広げない」「自分自身が感染しない」ことを徹底することが大切だと考えます。受験シーズン真っ只中の3年生が万全な状態で入試に臨めるよう全校生徒で一丸となって感染予防対策を実践していきましょう！

75号で基本的な感染予防対策を改めてお願いしましたが、今回は特に感染リスクが上がる＝マスクを外す場面での留意点を特集したいと思います。

(1) 給食

- ・ 向かい合わせにならないように、同じ方向を向き話をしないで食べる
- ・ よく噛むことに集中すれば、栄養が吸収しやすくなり免疫力UPへ
- ・ 食前の机等の消毒も大切ですが、食後も消毒を

(2) 歯磨き

※ 歯磨き・口腔ケアそのものは、感染予防に有効だと言われていますが、唾液の飛散・飛沫化を避けるやり方を工夫しましょう

- ・ 歯磨きペーストが口の中で唾液と混じり合い、口いっぱいになっていますので、その状態で口を開けたり、話をしたりしない
- ・ 歯磨き中はおしゃべりしないで口を閉じて黙って磨く
- ・ 誰とも向き合わないで、外を向いて磨く
- ・ うがいの際に混み合わないよう、時間差をつけて磨く
- ・ うがいの際、口の中の水を吐き出すときは、跳ね返らないように静かに吐き出し、終わったら洗い場や蛇口の取っ手を洗い流す

※ 都営大江戸線の運転士の集団感染は、歯磨き等で使っていた洗面所の蛇口を介して広がった可能性が指摘されています

(3) マスクを外した運動の時、呼吸が荒くなった時

- ・ 組み合ったり近距離での練習や動きを避け、他の人との距離を取る
- ・ 向かい合わせ・対面にならない、接触しない、距離を取る

福島県新型コロナウイルス緊急対策での学校対応 (R3. 1. 12～)

- 感染リスクの高い学習活動（部活動での実施を含む）の停止
- 宿泊を伴う学校行事等の停止
- 他校との合同練習会や練習試合の停止
- ※ 本校においてもこの3点に留意し、マスク着用やシールド、消毒薬等を有効活用しながら学習活動の充実と感染防止の両立を図ります。

